

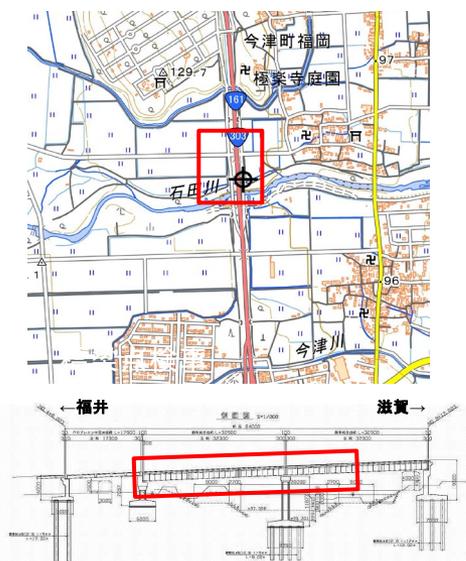
活用事例

- 橋長：84.0m 幅員：7.7m
- 橋梁形式：単純PCプレテン中空床版橋
単純鋼合成鉄桁橋2連
- 対象部位・部材：主桁、横桁、床版、対傾構
下横構、支承部、橋脚
- 性能カタログ(又はNETIS)番号：
BR010018-V0221
☆ [性能カタログへのリンク](#)

橋梁・支援技術



位置図及び側面図



：点検対象範囲
(2~3径間、下部工P1・P2橋脚)

○点検支援技術の効果

- ・橋梁点検車(BT400)による点検と比較して夜間通行止め規制が不要である。
- ・高所作業がなくなり、点検員の安全性が向上する。

○近接目視と同等と判断した理由

- ・狭小な桁間においても、近接写真が撮影可能である。
- ・ひびわれ幅0.1mmを検出可能である。
- ・第三者被害予防措置対象外であり、打音検査の必要がない。

○使用時の留意事項

- ・平均風速7m/s以下であること。
- ・現場近傍に機材の積み降ろし・組立スペースが必要。
- ・橋面上に機材を設置するため、交通規制が必要。

橋梁点検支援ロボット＋橋梁点検調書作成支援システム「見る・診る」(2/3)



写真-1 点検状況



写真-2 交通規制状況

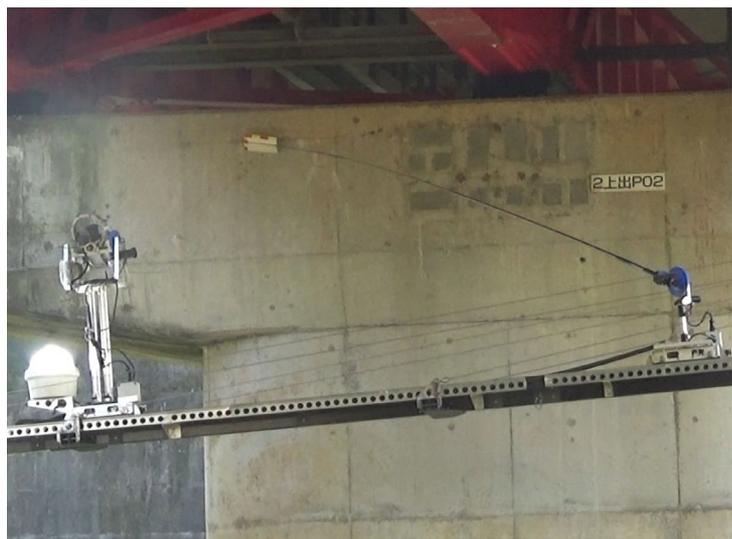


写真-3 損傷確認 (ひびわれ)

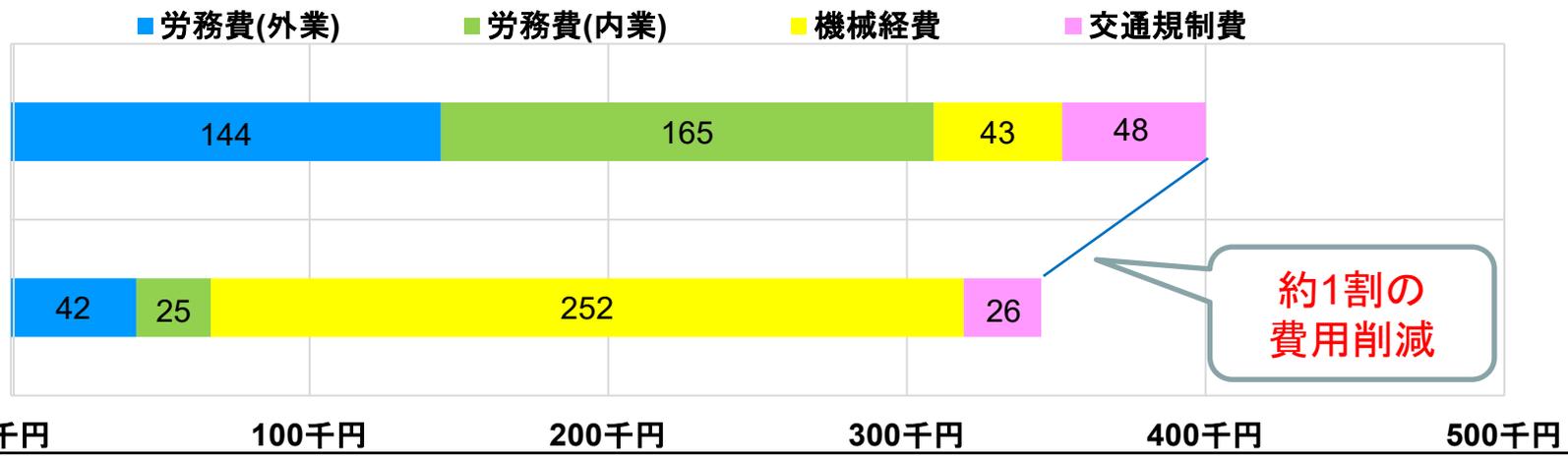


写真-4 撮影画像(写真-3の接写)

橋梁点検支援ロボット＋橋梁点検調書作成支援システム「見る・診る」(3/3)

コスト比較

比較条件：上部工・下部工の一部を点検した場合のコスト比較。
 評価：従来技術(橋梁点検車)と比べ、外業、内業及び安全費のコストダウンに寄与。



項目	従来技術	点検支援技術
外業	近接目視	橋梁点検支援ロボットによる写真撮影
内業	点検調書作成	点検調書作成
比較対象	橋梁点検車	点検支援ロボット「見る・診る」
合計金額	400千円	345千円
工程	3日(夜間)	2日

○諸条件
 橋面積：402.7m²
 橋脚高：4.0m(GL～桁下)
 天候：晴れ
 対象部位・部材：主桁、横桁、床版、対傾構、下横構
 支承部、橋脚
 進入路：有り
 点検時間：9:00～17:00
 たたき落とし作業：無し
 積算：業者見積もり(R4.7)
 前回の健全度：I判定

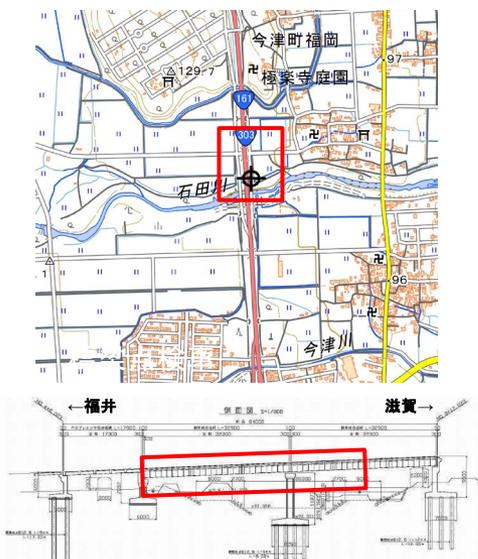
活用事例

- 橋長：86.5m 幅員：7.7m
- 橋梁形式：単純PCプレテン中空床版橋
単純鋼合成鉄桁橋2連
- 対象部位・部材：主桁、横桁、床版、対傾構
下横構、支承部、橋脚
- 性能カタログ(又はNETIS)番号
BR010018-V0221
☆ [性能カタログへのリンク](#)

橋梁・支援技術



位置図及び側面図



：点検対象範囲
(2~3径間、下部工P1・P2橋脚)

○点検支援技術の効果

- ・橋梁点検車(BT400)による点検と比較して夜間通行止め規制が不要である。
- ・高所作業がなくなり、点検員の安全性が向上する。

○近接目視と同等と判断した理由

- ・狭小な桁間においても、近接写真が撮影可能である。
- ・ひびわれ幅0.1mmを検出可能である。
- ・第三者被害予防措置対象外であり、打音検査の必要がない。

○使用時の留意事項

- ・平均風速7m/s以下であること。
- ・現場近傍に機材の積み降ろし・組立スペースが必要。
- ・橋面上に機材を設置するため、交通規制が必要。

橋梁点検支援ロボット＋橋梁点検調書作成支援システム「見る・診る」(2/3)



写真-1 点検状況



写真-2 交通規制状況



写真-3 損傷確認 (ひびわれ)

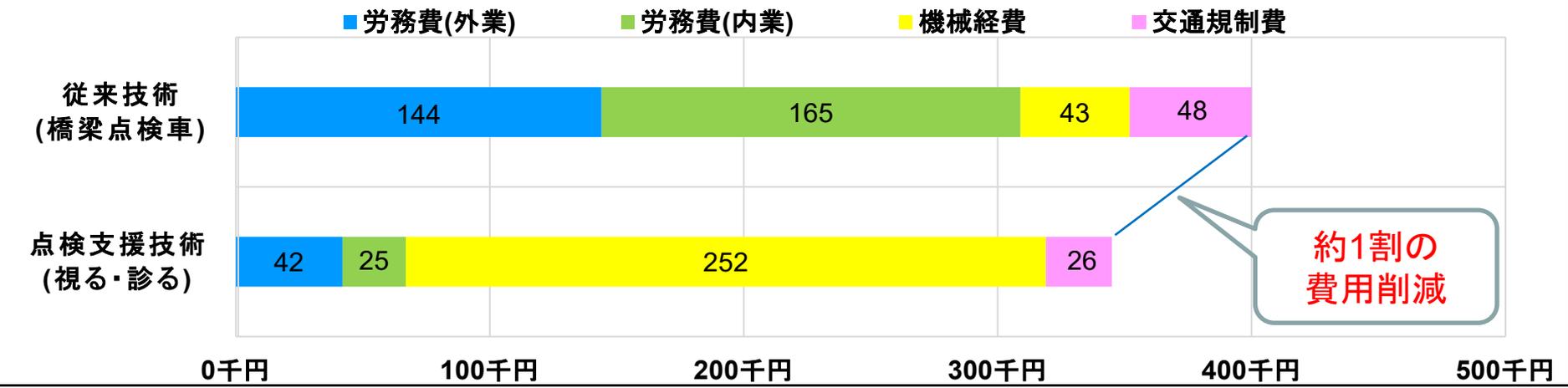


写真-4 撮影画像(写真-3の接写)

橋梁点検支援ロボット＋橋梁点検調書作成支援システム「見る・診る」(3/3)

コスト比較

比較条件：上部工・下部工の一部を点検した場合のコスト比較。
 評価：従来技術(橋梁点検車)と比べ、外業、内業及び安全費のコストダウンに寄与。



項目	従来技術	点検支援技術
外業	近接目視	橋梁点検支援ロボットによる写真撮影
内業	点検調書作成	点検調書作成
比較対象	橋梁点検車	点検支援ロボット「見る・診る」
合計金額	400千円	345千円
工程	3日(夜間)	2日

○諸条件
 橋面積:438.1m²
 橋脚高:4.5m(GL～桁下)
 天候:晴れ
 対象部位・部材:主桁、横桁、床版、対傾構、下横構
 支承部、橋脚
 進入路:有り
 点検時間:9:00～17:00
 たたき落とし作業:無し
 積算:業者見積もり(R4.7)
 前回の健全度:I判定